

令和6年度学校評価報告書

令和7年3月18日

北海道教育委員会教育長 様

北海道北広島高等学校長

次のとおり令和6年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

1	生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて、必要な能力や態度を身につけた生徒を育成する。
2	変わりゆく社会を探究・創造し主体的に学び続けられる生徒を育成する。
3	多様性を認め、他者と協働できる生徒を育成する。
4	心身ともに健康で、思いやりと社会性のある生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
カリキュラム・マネジメントの推進	・「探究チャレンジ石狩」で上位になるなど探究活動の成果が出ている。 ・学校評価アンケートを実施し広く意見を聞き参考にすることができた。	・地域との連携は進んでおり、探究活動を発展させる可能性がある。 ・教育活動をより充実させるためのプランの提示など、学校の主導力が重要である。
改善方策	・北広島市やエスコンフィールドとの連携をより一層進め、地域の教育資源を生かしたより効果的な教育活動を行う。 ・教育活動を適切に評価・改善できるよう、学校と保護者の共有を強化する。	
地域の信頼に応える学校づくり	・学校内外環境分析(SWOT分析)を実施し、本校の魅力を再認識できた。 ・インターンシップでの学校紹介、生徒会によるインスタグラムの開設を行った。	・市内幼小中でのインターンシップは是非継続してほしい。 ・志望する中学生に向けても有益な情報となるように発信してほしい。
改善方策	・情報発信について、利便性の高いツールへの切替を検討するとともに、HPの積極的な更新、発信を計画的に行う。 ・関係各所と連携を密にし、早期の計画を立て、多くの生徒が参加できる形を整備する。	
きめ細やかな指導や支援	・授業改善の必要性の共有、外部講師活用事例の蓄積を進めることができた。 ・積極的にいじめ対策委員会等を開催していじめを認知し、組織的に対応した。	・大学生でも自ら考えるスキルが身につけていないと感じる。幼小中高を通して自ら学ぶスキルを育てる必要がある。 ・自己指導能力は広い知識の上に成り立つ。
改善方策	・大学入試等に対応できる力を身につけさせるため本校のスタイルを、常に見直しながら検討し確立させるために、校内外への研修の奨励、データ分析等に積極的に取り組む。 ・いじめ対応マニュアルの見直し、悩みを抱える生徒へのアプローチなど研修を進める。	
組織的・系統的なキャリア教育	・保護者進路説明会や進路ガイダンス、課外講習等を計画的に実施できた。 ・外部講師講話、インターンシップ等で、生徒の視野を広げることが出来た。	・先生方の親身な相談のおかげで、進路の道筋が見えやすい。 ・幅広い分野の情報を生徒に提供していただきたい。
	・進路講話や総合的な探究の時間、地域組織や道の事業等も活用しながら、3年間を見通した実践的・効果的なキャリア教育を推進する。	
公表方法	(1) 学校公式サイトへの掲載 (2) P T Aだより(令和7年度)への掲載	